

## 「低温やけど」の事故防止について（注意喚起）

NITEに通知された製品事故情報のうち「低温やけど」(1)の事故は平成8年4月～21年10月までに77件(2)ありました。平成16年度から平成19年度までの4年間で22件でしたが、平成20年度は1年間で30件(11月～3月で16件)と急増し、このうち16件は重大製品事故でした。

「低温やけど」は、ゆたんぼ、電気あんか、電気毛布などのさまざまな暖房器具やカイロ(使いすて式)など、で発症するおそれがあります。

特にゆたんぼなどはエコブーム等を背景に需要が高まっていることから、今年度も多発する可能性が極めて高いと推測されます。「低温やけど」には、温かく心地よいと感じる程度の温度でも、長時間にわたって皮膚が触れていると発症するという特徴があります。この特徴について、消費者にあまり知られていないため、「低温やけど」の事故防止の観点から注意を呼びかけるための記者説明会を開催しますので、ご案内いたします。

(1) 比較的低い温度(44～50)のものでも長時間にわたって皮膚の同じ個所にふれていると人間の筋肉、血液などが、壊死するために「低温やけど」を負う。一般的には44では3～4時間以上の接触で発症し、46では30分～1時間、50では2～3分で発症するといわれているが、そのときの体調など身体の状態によって異なる。

(2) 平成21年10月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

### 1. 記者説明会について

日時： 平成21年11月26日(木) 10:00～

場所： NITEスクエア (東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階)

参加ご希望の方は、11月25日(水)17:00までに「記者説明会参加連絡先」へご連絡下さい。

### 2. 注意喚起する内容

NITEに通知された製品事故情報のうち、平成8年4月～21年10月までに「低温やけど」の事故は77件ありました。

このうち、使用者が暖房器具を正しく使用すれば防げたと思われる事故が殆どであることが分かりました。また、「低温やけど」を発症した暖房器具は5品目に大別されます。この分類ごとに事故防止するために注意すべき点を説明します。

(「低温やけど」を発症した暖房器具5品目)

ゆたんぼ

電気あんか

電気毛布

カイロ(使いすて)

その他

### 3. その他

記者説明会当日、「低温やけど」の事故をご理解いただくために、「低温やけど」の写真、ゆたんぼなどをご覧いただきます。

(本件に関する問い合わせ先)

記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全企画課

担当者 小田、宮川

電話：03-3481-6566

記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、鬼頭

電話：03-3481-6566(製品安全企画課)

記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、鬼頭

電話：06-6942-1113